

新機種紹介 機関連誌編集委員会

▶ 〈02〉 掘削機械

13-〈02〉-01	キャタピラージャパン (後方) 超小旋回型油圧ショベル Cat 314E CR/Cat 314E LCR/Cat 314E SR	'13.01 モデルチェンジ
------------	--	-------------------

後方超小旋回型油圧ショベルの Cat 314E CR, Cat 314E LCR と、超小旋回型油圧ショベルの Cat 314E SR は、それぞれ Cat 313D CR, Cat 314D CR, Cat 313D SR のモデルチェンジ機である。

環境対応パワーユニットには、低エミッションと低燃費を両立する「Cat 電子制御システム」、高効率燃焼を実現し排出ガス成分を抑制する「燃料噴射システム」、排出ガスの一部を冷却して吸気側に循環することで NOx の排出を低減する「NOx リダクションシステム」、一酸化炭素、炭化水素をディーゼル酸化触媒により、PM を DPF により低減・除去する「アフタートリートメント技術」など、数々のエンジンテクノロジーを搭載している。また、「燃費低減型エンジン・油圧システム搭載油圧ショベル」として NETIS に登録されており、従来機比で燃料消費量を約 5～8% 低減（スタンダードモード）、エコノミーモードではスタンダードモードからさらに約 10～12% 低減している。

解体仕様、ブレード仕様、ショベルクレーン、林業仕様などをラインアップし、さまざまな用途に対応している。

小回り性を活かすラウンドキャブやスライド式キャブドアにより、狭所でもスムーズに乗降ができる。

また、国土交通省超低騒音型建設機械の基準値をクリアしている。（申請予定）。

ROPS（転倒時運転者保護構造）キャブの搭載、後方および側方の作業視界を確保するリアビューカメラとライトサイドミラーを標準装備するほか、機体上面からの転落を防止する大型ガードレールを装備し、安全性の向上を図っている。

キャブ内騒音を従来機比で約 6～7dB 低減している。また、7 インチ大型画面のフルグラフィックカラーモニタを採用し、各種設定のほか稼働状況、リアビューカメラ映像、各種警告の確認が行える。

ラジエータとアフタクーラのサイドバイサイドレイアウトによる、メンテナンス・ポイントへのアクセス性向上とメンテナンス作業の省力化を図っている。

表—1 Cat 314E CR/Cat 314E LCR/Cat 314E SR の主な仕様

	314E CR	314E LCR	314E SR
運転質量 (t)	13.2	14.4	14.7
標準バケット容量 (m ³)	0.45	0.50	0.45
全長 (m)	7.32	7.45	7.53
全幅 (トラック全幅) (m)	2.49		
全高 (ガードレール上端) (m)	3.00		
後端旋回半径 (m)	1.49		
登坂能力 (度)	35		
接地圧 (kPa)	42.8	43.0	47.5
エンジン名称	Cat C4.4 ディーゼルエンジン		
総行程容積 (ℓ)	4.4		
定格出力 (kW(PS)/min ⁻¹)	68(92)/1,800		
最大掘削深さ (m)	5.44		4.84
最大掘削半径 (m)	8.36		7.43
最大掘削高さ (m)	9.30		8.44
価格 (百万円)	14.1	15.6	16.8



写真—1 キャタピラージャパン Cat 314E CR 後方超小旋回型油圧ショベル

問合せ先：キャタピラージャパン(株) 広報室

〒158-8530 東京都世田谷区用賀 4-10-1

新機種紹介

▶ 〈12〉 モータグレーダ、ロードスタビライザ、締固め機械およびソイルプラント

13-〈12〉-01	日立建機 振動ローラ ZC35C ₃ 、ZC50C ₃ 、ZC35T ₃ 、ZC50T ₃	'13.04 発売 モデルチェンジ
------------	---	----------------------

中規模舗装工事に使用される振動ローラについて、従来機のもつ安全性能を継承し、信頼性および耐久性の向上を図ってモデルチェンジしたものである。

排出ガス規制のオフロード法 2006 年基準に対応しており、また国土交通省指定の超低騒音型建設機械の基準もクリアしている。

リサイクル可能なアルミ製ラジエータを採用し、配線は鉛フリー化して環境に配慮している。メインハーネスには耐屈曲性に優れた配線を採用し、耐久性の向上を図っている。

コンバインドローラには、2つの油圧モータで左右のタイヤを直接駆動するホイールモータ駆動方式を採用した。ペダルを踏むことで片輪スリップによる不具合を解消し、軟弱地からの脱出を容易にする油圧デフロック装置をオプションとして選択可能とした。

盗難予防装置として、テンキーロックシステムまたは電子キーロックシステムを選択可能になっている。



写真一 日立建機 ZC50C₃ 振動ローラ

問合せ先：日立建機株式会社 広報戦略室 広報・IRグループ
〒112-8567 東京都文京区後楽二丁目5番1号

表一 表二 ZC35C₃ ほかの主な仕様

	ZC35C ₃	ZC50C ₃	ZC35T ₃	ZC50T ₃
運転質量 (kg)	2,805	3,640	3,060	4,130
静線圧 (前輪) (N/cm)	122	153	122	153
静線圧 (後輪) (N/cm)	-	-	128	158
動線圧 (前輪) (N/cm)	293	341	293	341
動線圧 (後輪) (N/cm)	-	-	300	347
起振力 (kN)	20.6	24.5	20.6	24.5
走行速度 (高/低) (km/h)	12/9	12/9	12/9	10/8
締固め幅 (mm)	1,200	1,300	1,200	1,300
定格出力 (kW (PS)/min ⁻¹)	22.1 (30.0) /2,400			
価格 (百万円)	5.50	6.40	5.70	6.50